

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
①県内大学進学者の確保	自県進学率の維持 （県内大学および短大への進学者／大学および短大への進学者）  2023年度目標 40.0%	<b>（取組1）</b> 大手予備校講師等が高校生および保護者向けに県内大学進学の魅力を紹介する進学アドバイス講座を開催	<b>（取組1の活動指標）</b> 進学アドバイス講座の開催：1回以上/年	<b>（取組1の活動実績）</b> 例年3月に進学アドバイス講座を実施しているが、コロナ禍の影響により開催を中止した。	D 新型コロナウイルス感染予防の観点から取組を中止せざるを得なかった。今後の状況を注視しながら企画を検討する。
		<b>（取組2）</b> 県内高校生の県内大学志願動向を分析し、高大接続対策に反映	<b>（取組2の活動指標）</b> データの分析・検討会の開催：1回以上/年	<b>（取組2の活動実績）</b> 県内高校生における大学進学動向（平成31年4月入学）を分析し、情報共有を図った。また、令和2年2月県内高校3年の生徒・保護者を対象に進路に関するアンケート調査（1回）を実施した。	A 県内高校生の県内・県外の大学進学動向が確認できた。今後この結果を踏まえ、県内高校生の高大接続対策を検討する。
		<b>（取組3）</b> 高大連携接続教育研究会による高校生への開放講義や模擬講義の開催	<b>（取組3の活動指標）</b> 開放講義や模擬講義の開催：20回以上/年	<b>（取組3の活動実績）</b> 各大学における模擬授業等は実施しているが、プラットフォームとしての開放講義・模擬授業を開催することができなかった。	D 当初の目標までには至っていない。今後企画の見直し等を検討する。
②県内高等教育機関の教育内容の充実および交流の拡大	大学連携センターの利用人数  2023年度目標 12,000人	<b>（取組1）</b> 福井県の特長的な自然と環境、産業と経済、地域と社会の各分野について講義を共同で開講することにより、幅広い科目の履修機会を学生に提供する。これらの講義は県内すべての高等教育機関のサテライトキャンパス“大学連携センター Fスクエア”において開講する。	<b>（取組1の活動指標）</b> 単位互換による科目の開講数：30単位以上/年	<b>（取組1の活動実績）</b> 県内大学等が連携して、Fスクエア共通科目を大学連携センター（Fスクエア）にて、前後期合わせ34科目66単位を開講した。	A 県内大学等が連携して、単位互換による授業科目を開講することができた。

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
		<p>(取組2) 大学の垣根を越えた交流会の開催など、大学連携センターの共同活用 (活用例) ・大学生等と留学生、県内高校生が英語を通じて国際交流に親しむイベント ・県内企業の経営者や若手社員と大学生等との交流会 ・地域団体と大学生等とのワークショップ</p>	<p>(取組2の活動指標) 大学生等が交流できるイベントの開催：20回以上/年</p>	<p>(取組2の活動実績) 大学連携センターにて大学生等が交流できるイベントを19テーマ、計57回開催した。 ・大学生等と留学生、県内高校生が英語を通じて国際交流に親しむイベント 2テーマ、計26回 ・県内企業の経営者や若手社員と大学生等との交流会 12テーマ、計24回 ・地域団体と大学生等とのワークショップ 5テーマ、計7回</p>	<p>A 大学連携センターを共同活用し、活用例に掲げる交流イベントを開催することができた。</p>
③教員の教育力向上および事務職員の管理運営等の資質向上	共同FD・SD研修会への参加者 2023年度目標 400人	<p>(取組1) 県内大学等が共同でFD・SD研修会を開催</p>	<p>(取組1の活動指標) 研修会の開催：4回以上/年初年度から50名ずつ増加</p>	<p>(取組1の活動実績) 「教学IR」、「TPチャート」、「学生支援・教務事務」、「助成制度」をテーマに県内大学等の共同によるFD・SD研修会を4回開催し、延べ82名が参加した。 ・教学IR 令和元年9月 ・TPチャート 令和元年12月 ・学生支援・教務事務 令和元年12月 ・助成制度 令和2年1月</p>	<p>B 4回研修を開催しているが、目標の参加者数には至っていない。今後企画の実施方法、企画の内容等の見直しを検討する。</p>
		<p>(取組2) 共同IRの実施 (活動例) 学生意識調査アンケート 学生の学びや成長に対する意識とその変化を捉え、学生理解や教育方針の決定、カリキュラム設計等に役立てるため学生意識調査を実施</p>	<p>(取組2の活動指標) アンケートの実施：1回/年</p>	<p>(取組2の活動実績) 令和元年11月から12月にかけて、学生意識調査アンケートを1回実施した。</p>	<p>A 共同による学生意識調査アンケートを実施することができた。</p>

様式3) 達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内） ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
④県内大学連携による県内の課題解決	共同研究の実施件数 2023年度目標 5件	（取組1） 県内大学等や研究機関が連携して地域貢献に関する研究を実施 （課題研究テーマ） 原子力技術、ふくいブランド創出、まちづくり、バイオ・6次産業化、国際・地域、看護福祉等 ふくいオープンイノベーション推進機構を中心に県内大学等と県内企業との共同研究・技術開発のための検討会を開催	（取組1の活動指標） 共同研究の実施件数 ：初年度から1件ずつ増加	（取組1の活動実績） 福井県高浜町和田において、県内大学等・地域住民・自治体の三者による民宿と路地を活用した景観・空き家活用・観光まちづくりに関する研究を実施した。	A まちづくりの課題研究テーマで三者による研究を実施できた。今後も地域貢献に関する研究テーマを検討しながら実施していく。
	県内企業等へのインターンシップ参加者数 2023年度目標 400人	（取組2） 県内大学等と産業界、県が共同企画した県内企業等でのインターンシップを実施	（取組2の活動指標） 県内企業等でのインターンシップ参加者数 ：初年度から25名ずつ増加	（取組2の活動実績） 県内大学等と産業界、県が連携して実施するインターンシップに、合わせて265名が参加した。	B 三者によるインターンシップを実施したが、目標の参加者数には若干至っていない。
	産業特性に合った人材育成プログラムの実施数 2023年度目標 50件	（取組3） 本県の産業特性に合った人材育成教育プログラムの開発	（取組3の活動指標） 教育プログラムの実践数 ：初年度から10件ずつ増	（取組3の活動実績） 地域人材育成事業において、県内大学等合わせて5件の地域志向人材育成プログラムを実施した。	B プログラムの開発及び実施したが、目標の件数に至っていない。今後事業内容の見直しを含め、プログラムを検討する。
	県民対象の共同公開講座への参加者数 2023年度目標 100人	（取組4） 県内大学等が大学連携センター等において共同で公開講座を開催	（取組4の活動指標） 共同公開講座の講座数 ：4講座以上/年	（取組4の活動実績） 各大学の実施状況を確認し検討を進めたが、県内大学等の共同による公開講座は実施できなかった。	D 当初の目標までには至っていない。今後企画の内容を検討する。

様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内) ※計画策定から1年未満のプラットフォームの場合は「課題」～「活動指標」欄までの記入					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
④県内大学連携による県内の課題解決	社会人の受入れ体制の構築 2023年度目標 3件 20講座	(取組5) リカレント教育を促進するため、県内大学等が連携して社会人の受入れ体制の検討会を開催	(取組5の活動指標) 検討会の開催 : 1回以上/年	(取組5の活動実績) 令和元年9月にリカレント教育の促進するための社会人の受入れ体制の検討会を1回開催した。	A 社会人の受入れ体制の検討会を1回開催した。
	連携事業の構築	(取組6) 産業界と県内大学等との連携強化のための検討会を開催	(取組6の活動指標) 検討会の開催数 : 1回以上/年	(取組6の活動実績) 学生の地元定着の促進に関して、経済団体との意見交換を2回行った。 ・福井商工会議所 令和元年10月 ・福井県経営者協会 令和元年11月	A 経済団体と2回意見交換を行った。